

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,677	3.2	751	6.1	770	5.2	441	11.2
23年3月期第3四半期	3,563	7.3	708	13.3	732	15.3	397	23.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 439百万円 (12.1%) 23年3月期第3四半期 392百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	98.44	—
23年3月期第3四半期	88.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,088	5,171	5,171	5,171	84.9
23年3月期	5,887	4,911	4,911	4,911	83.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,171百万円 23年3月期 4,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,107	6.1	1,053	5.6	1,059	3.0	614	8.5	137.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	4,536,000 株	23年3月期	4,536,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	50,549 株	23年3月期	50,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	4,485,451 株	23年3月期3Q	4,485,560 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向け様々な対策が練られるなか、欧米における財政金融不安から、連鎖的に円高・株安となり景気の悪化は避けられない状況にあります。

学習塾業界にありましても、景気悪化や雇用情勢の不安から、聖域と言われた教育業界にあっても経営環境は厳しさを増しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、雇用情勢を逆手に取った積極的な中途採用の継続と理科実験授業・野外体験授業及び農業体験授業などの新たな教育サービスの提供等、様々な対策に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高36億77百万円(前年同期比1億14百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業利益7億51百万円(前年同期比43百万円増)、経常利益7億70百万円(前年同期比38百万円増)、四半期純利益4億41百万円(前年同期比44百万円増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は8,366名(前年同期比5.7%増)となりました。この結果、売上高は21億48百万円(前年同期比1億48百万円増)となり、セグメント利益(営業利益)は、3億82百万円(前年同期比15百万円増)となりました。

(スポーツ事業)

一方、スポーツ事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は23,524名(前年同期比0.4%減)となり、売上高12億84百万円(前年同期比45百万円減)、セグメント利益(営業利益)は、4億18百万円(前年同期比30百万円増)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億1百万円(前年同期比9百万円増)、セグメント損失(営業損失)は26百万円(前期同期はセグメント損失25百万円)となりました。

(その他)

化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室の運営・農業事業を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は50百万円(前年同期比8百万円増)、セグメント損失(営業損失)は22百万円(前期同期はセグメント損失21百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は50億76百万円(前連結会計年度末比1億98百万円増)となりました。

これは主に、現金及び預金が7億98百万円増加したことと有価証券が5億99百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は10億12百万円(前連結会計年度末比1百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産が35百万円増加したことと投資その他の資産が32百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は8億70百万円(前連結会計年度末比37百万円減)となりました。

これは主に、短期借入金が増加した60百万円と未払法人税等が1億51百万円減少したことと流動負債その他が53百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は46百万円(前連結会計年度末比21百万円減)となりました。

これは主に、退職給付引当金が21百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は51億71百万円(前連結会計年度末比2億59百万円増)となりました。

これは主に、利益剰余金が増加した2億62百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の連結売上高及び営業利益等は、ほぼ予想と同様の水準で推移いたしました。

売上高面では、主たる事業である教育事業及びスポーツ事業における平均生徒数がほぼ予想値と同水準であったことが主要因であります。

営業利益面では、教室担当者数の増加や営業組織の拡充に伴う人件費が増加傾向であります。他のコスト削減により、利益を確保しております。

通期の連結業績予想は、第3四半期以降において積極的な入会活動と同時に効率的な組織運営によるコスト削減に努めることにより、前回公表数値と同額を予想しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,029,937	4,828,933
受取手形及び売掛金	25,458	17,807
有価証券	599,870	—
商品及び製品	77,787	92,722
原材料及び貯蔵品	16,354	11,405
その他	127,956	125,289
流動資産合計	4,877,364	5,076,158
固定資産		
有形固定資産	257,879	293,219
無形固定資産	26,036	25,600
投資その他の資産	726,649	693,713
固定資産合計	1,010,565	1,012,532
資産合計	5,887,930	6,088,690
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,225	29,377
短期借入金	250,000	310,000
未払法人税等	269,260	117,466
賞与引当金	81,844	74,841
その他	285,678	339,084
流動負債合計	908,009	870,768
固定負債		
退職給付引当金	43,348	21,604
資産除去債務	14,699	15,746
その他	10,603	9,302
固定負債合計	68,651	46,653
負債合計	976,660	917,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	4,724,948	4,987,088
自己株式	△37,086	△37,086
株主資本合計	4,930,262	5,192,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,992	△21,134
その他の包括利益累計額合計	△18,992	△21,134
純資産合計	4,911,269	5,171,268
負債純資産合計	5,887,930	6,088,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,563,737	3,677,835
売上原価	2,011,659	2,085,761
売上総利益	1,552,077	1,592,074
販売費及び一般管理費	843,873	840,537
営業利益	708,203	751,536
営業外収益		
受取利息	7,574	5,771
受取配当金	2,531	5,277
保険解約返戻金	13,210	5,840
営業権譲渡益	—	2,348
その他	4,531	3,458
営業外収益合計	27,847	22,695
営業外費用		
支払利息	3,092	3,034
その他	413	417
営業外費用合計	3,505	3,451
経常利益	732,545	770,780
特別利益		
固定資産売却益	226	—
退職給付制度改定益	—	37,369
特別利益合計	226	37,369
特別損失		
固定資産除却損	1,622	1,995
投資有価証券評価損	31,328	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,763	—
特別損失合計	42,714	1,995
税金等調整前四半期純利益	690,058	806,154
法人税等	292,964	364,596
少数株主損益調整前四半期純利益	397,093	441,558
四半期純利益	397,093	441,558

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	397,093	441,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,977	△2,142
その他の包括利益合計	△4,977	△2,142
四半期包括利益	392,115	439,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,115	439,416
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,000,652	1,329,346	192,170	3,522,169	41,567	3,563,737	—	3,563,737
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	339	339	△339	—
計	2,000,652	1,329,346	192,170	3,522,169	41,906	3,564,076	△339	3,563,737
セグメント利 益又は損失 (△)	366,507	388,173	△25,421	729,258	△21,054	708,203	—	708,203

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整後はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	2,148,775	1,284,007	201,207	3,633,991	43,844	3,677,835	—	3,677,835
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	6,221	6,221	△6,221	—
計	2,148,775	1,284,007	201,207	3,633,991	50,066	3,684,057	△6,221	3,677,835
セグメント利 益又は損失 (△)	382,236	418,324	△26,334	774,225	△22,689	751,536	—	751,536

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品販売事業・金属加工事業・バスケット教室事業及び農業事業を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。